

つなぎ、ひろめる仕組みづくり

～ 防災カフェ inせんだい (仙台市)、たのしいぼうさい、きらくなぼうさい～

- ちょっとした”備えや、知っておきたい知恵、そして、大事な人や自分を守れる術を伝える場
- コーヒーでも飲みながら、まずは気楽に簡単な「ぼうさい」にふれる場
- 仙台市だけでなく、兵庫・京都・熊本・徳島など他でも開催



防災マップづくり



災害を想定し行動を考える



お茶を飲みながら振り返る



貴重な食料の使い道



レシピのアイデア



内閣府ホームページより 47

つなぎ、ひろげる取り組み

～ 住民自身による災害時要援護者の避難体制づくり (鳥取県米子市)～

- 地区内の独居老人など災害時に自力での避難が困難な方の調査に取組み、自宅の状況や最寄りの避難所の場所を地図に書き込んだ**災害時要援護者防災マップ**を作成
- 現場が混乱する非常時でも冷静に対処できるよう、詳細な**避難誘導マニュアル**も作成し、構成員全員に配布されており、それらを使って災害時に迅速・的確に対応できるよう**簡易型図上訓練(DIG)**も開催



住民自ら検討
に参加

鳥取県ホームページより 48

つなぎ、ひろげる取り組み

～ 災害時要援護者も参加した防災訓練（横浜市中区）～

- 障害者も地域の住民として避難訓練に参加
- 避難所の混乱を肌で知り、互いに守り合う方法を探る



体育館で段ボール、ブルーシートを使って自分の居場所を作る



消火器の使い方を学ぶ参加者

福祉よこはまホームページより(145号) 49

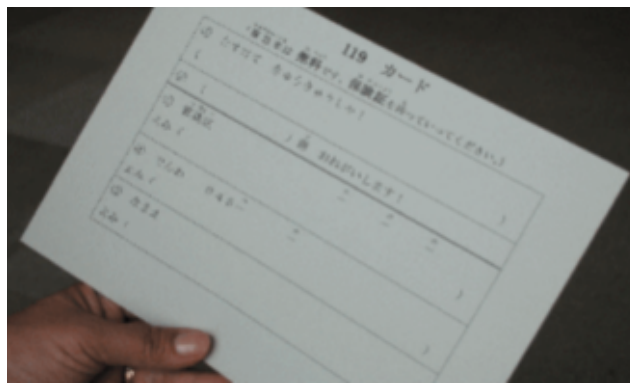
つなぎ、ひろげる取り組み

～ 外国籍の住民に日本語を（横浜市都筑区）～

- 災害時には、“情報弱者”になりかねない外国籍の住民に、緊急の際に必要な日本語を教える仕組み



都筑区役所の多目的スペースにてボランティアとのやりとりの様子



119カードや防災シートと呼ばれるテキストを使って学習

福祉よこはまホームページより(145号) 50

つなぎ、ひろげる取り組み

～子どもを対象にした防災訓練プログラム(静岡県袋井土木事務所)～

- 一連のプログラムを経験して、子どもたちを地域の水害博士に！



泥水実験によるイメージトレーニング



避難時に危険な場所の現地調査



危険箇所の書き込み、図上訓練



水害経験者による講演会

出典：静岡県袋井土木事務所51

つなぎ、ひろめる仕組みづくり

～河川レンジャー制度(国土交通省近畿地方整備局)～

- 淀川水系流域委員会が提案し、淀川水系河川整備計画(案)に位置付け。
- 流域で活動する人たちの連携・協働を目指す。
- 流域住民と河川行政、流域住民同士の「つなぎ役」であり、流域に点在する様々な活動実績を活かせる、地域の情報・知識に詳しい**コーディネーター**。
- 現在、琵琶湖・淀川流域で、さまざまな活動を展開。



水害経験の聞き取り



流域イメージの聞き取り



子どもの防災学習支援

つなぎ、ひろめる仕組みづくり

～ 河川管理パートナー制度、2009年4月スタート(滋賀県)～

■ 河川管理パートナーの役割

- 河川環境の保全についての普及・啓発。
- 河川についての多様な情報の収集活動(月2回以上)
- パートナー会議(情報交換・連携強化)に出席。

募集ポスター

河川管理パートナーを募集します

滋賀県では、県内の一級河川の環境保全を図るため、河川管理パートナーを募集します。

- 業務内容/巡視担当区域内の一級河川について、概ね月2回の河川巡視を行い、管内建設管理部(大津土木事務所)に月1回河川状況を報告。年2回程度河川管理に係る会議に出席。
- 資格/巡視担当区域の管内に居住、勤務または通学している満18歳以上の方。(平成21年4月1日現在) 河川愛護に理解があり、河川の環境保全に係る普及啓発に努めていただける方。
- 募集人数/7人
- 担当区域/大津土木事務所1名、南部・東近江・湖東・長浜建設管理部各1名、高島建設管理部2名(担当地区の詳細は下表の建設管理部(大津土木事務所)にお問い合わせください)

事務所名	募集人数	担当(河川巡視の)区域	区域内の主な河川
	1	大津市(堅田から仰木)内	真野川、天神川 栗山川、金勝川、中ノ井川(放水路)

つなぎ、ひろめる仕組みづくり

～ 淡海の川づくりフォーラム～

- 水辺に関わる官民各団体(環境・防災・川を活かした地域づくりなど)が集まり、公開選考方式による交流を経て、“川と共生する暮らし”、“川と私たちのいい関係”について、共に探る。

テーブル選考(午前)

参加団体がテーマ別に分かれて発表します。

テーブル選考で十分にアピールできなくても、“きらり”と光る活動には・・・

選考委員の推薦により全体討論へ

復活選考(昼)

テーブル選考では見つけられなかった大切なテーマを全体討論に推薦します。

選考委員の推薦により全体討論へ

全体討論(午後)

テーブル選考、復活選考を経て、推薦された“きらり”と光る活動を見ながら、“川と私たちの関係”について議論を深めていきます。

わたくしも参加します



滋賀県知事
嘉田由紀子